

## 第 85 回大腸癌研究会リンパ節委員会 議事録

日時：2016 年 6 月 30 日（木）10:00-11:00

場所：場所：グランフロント大阪 コンベンションセンター（ルーム 9）。

出席者（敬称略、順不同）：防衛医科大学校、神藤英二、長谷和生。大阪府立成人病センター、大植雅之、三吉範克。横浜市立大学、大田貢由。帝京大学、橋口陽二郎、岡本耕一。国立がんセンター東、伊藤雅昭。東京女子医科大学、小川真平、板橋道朗。済生会横浜市南部病院、池 秀之、長谷川誠二。久留米大学、田尻健高、四方田隆生。駒込病院、高橋慶一。国立がんセンター、志田 大。栃木県立がんセンター、小澤平太。近畿大学、肥田仁一、川村純一郎。

テーマ：規約におけるリンパ節取扱いの諸問題。

I. 腸管傍と中間リンパ節の転移個数 7 個以上と N3 を new IIIc に：規約の「N3」・「リンパ節転移は最大の予後因子」という考えを基調にした新 Staging。

現在 N2 は腸管傍／中間が 4 個以上、N3 は主／側方転移で N2/N3 は IIIb。

ところが腸管傍／中間が 7 個以上の生存率は N3 に近似あるいは N3 より悪い。

1. そこで N2 を N2a 腸管傍／中間 4-6 個と N2b 腸管傍／中間が 7 個以上とし、N3 は従来の主／側方転移とする。

N1: 腸管傍/中間 1-3

N2a: 腸管傍/中間 4-6

N2b: 腸管傍/中間 7 以上

N3: 主/側方転移

2. 次に N2a を IIIb、N2b & N3 を IIIc とする新 Staging。

	N0	N1	N2a	N2b/N3
T1	I	IIIa	IIIb	IIIc
T2	I	IIIa	IIIb	IIIc
T3	II	IIIa	IIIb	IIIc
T4	II	IIIa	IIIb	IIIc

上記新 N 分類と新 Staging について全国集計を用いて神藤委員が、フォローアップ研究会データを用いて橋口委員が報告：症例分布に偏りなく、生存率に Crossover なし。

意見：①新分類で：長点は簡便性（保守性）、症例分布、生存率 Range。②現行 TNM の N2b に N3 を加える（N3 は Staging から消える）。③現行 TNM で。

背景：Staging において、深達度の関与が規約よりも大きく、またカテゴリ一数

も規約より多い TNMの方が AIC と C-index で予後分別に勝る。しかし、TNM 1997 5th は Stage II: T3/4 N0, Stage III: Any T N (+) で現行規約と同一。TNM 2002 6th で、壁深達度によって stage II が IIA, IIB に、stage III が IIIA, IIIB に亜分類された (IIIC は Any T N2 (>3))。この時、IIB と IIIA の生存率が逆転 (Crossover) した。「逆転」は TNM 史上初めてのことで、「逆転」は TNM の原則に反するという批判があった。そこで TNM 2009 7th ではさらに T4 を T4a, T4b に細分して、stage II を IIA, IIB, IIC に、stage III を IIIA, IIIB, IIIC に亜分類した。しかし IIB と IIIA の逆転は残り、症例数の分布に偏りと凹凸が生じることになる。

II. 側方郭清及び術前補助療法の適応を左右する cN+の判定基準。

結論：MRI あるいは CT の横断面 (スライス巾 5mm 以下) で間膜、側方ともに短径 5mm 以上。Ogawa et al. Ann Surg Oncol. 2016;23:1187-94. さらに、

1. cN (+) は壁深達度、間膜転移に勝る側方転移のリスクファクター。
2. cN 判定基準を加えた主成分分析によって側方転移予測式を作成。

について英論文作成中。進捗状況を小川委員が報告。

III. 術前診断の正診率向上のために、4 枚の CT 横断面 (スライス巾 5mm 以下) と、それら各々に相当する術中写真で 263, 283 領域を示す。大田委員が Figure & its legend を Brush up。

IV. 規約改訂委員会から求められた「側方領域の境界について」：リンパ節委員会 13 施設の意見集約。

263P: 外側:内腸骨動脈 内側:尿管下腹神経筋膜 頭側:内腸骨動脈分岐部 尾側:上膀胱動脈分岐部

263D: 外側:膀胱下腹筋膜 内側:尿管下腹神経筋膜 頭側:上膀胱動脈分岐部 尾側:下膀胱動脈分岐部 (or 陰部神経管)

283:外側:内閉鎖筋 内側:膀胱下腹筋膜 頭側:内外腸骨動脈分岐部 尾側:肛門拳筋腱弓 背側:坐骨神経

280 (大動脈分岐部リンパ節):大動脈分岐部

270 (正中仙骨リンパ節):外側 総腸骨動静脈内側 背側:仙骨前面 頭側:大動脈分岐部下縁 尾側:内外腸骨動脈分岐部

前田規約改訂委員から「尿管下腹神経筋膜」と「膀胱下腹筋膜」について:もっと馴染み深い構造物 (例えば血管) で示すべきという意見があり改訂中。

(文責:肥田仁一)